

やぶきたと組み合わせ栽培に
適する早生品種。

おおいわせ



初期生育が旺盛な早生品種で、早場地帯及び凍霜害の少ない地帯での栽培に適します。

品種の来歴と特徴

静岡県茶業試験場において、昭和35年に「やえほ」を母とし、「やぶきた」を父として交配をおこない、その実生中から選抜育成したもので、昭和51年に、静岡県茶奨励品種に採用されたものです。

「おおいわせ」は「やぶきた」よりも5〜6日早い早生種で、樹姿は開張型、初期成育良好で分枝数多く、株張りは早く広がります。

品質の特性

品質は「やぶきた」と同程度に良好で、形状は細よれで色沢がよく、内質はそう快な香気と渋味、旨味の調和のとれた滋味をもっています。

栽培上の注意点

初期生育が旺盛で、「やぶきた」よりも分枝数が多く、早期に成圃化します。早生種であるため晩霜害を受けやすいので、防霜対策に努め

る必要があります。また、寒風に弱く落葉しやすいので、寒風の強いところでは防風垣等が必要で、炭そ病には弱いので、「やぶきた」に準じ防除します。

普及および栽培適地

中生の「やぶきた」と組み合わせ栽培する早生品種として、早場地帯及び凍霜害の少ない地帯に適します。

苗木の入手方法

県経済連で取り扱っているので、地元農協に申し込めば入手できます。
種苗法登録品種ではないので、苗の増殖、販売等は自由です。

命名の由来

大井川の川の名と早生をとり、「さくら」に収量が多いこと、良質茶の象徴である「覆い」に由来しています。



品種名	育成年	種苗登録の有無	育成場所	来歴	
				やえほ	やぶきた
おおいわせ	1976	無	静岡茶試	やえほ	やぶきた



早晩性	樹姿	樹勢	収量性	品質			耐寒性 (赤枯れ)	耐病性 (炭そ病)
				色沢	香気	滋味		
早生	開張	中	中	上	中上	中	弱	弱